

# 議会だより

2009  
8



地域の安全、安心のため日夜奮闘中

## 主 な 内 容

6月定例会市議会・7月臨時市議会の概要、 9月定例会市議会の予定 .....	2
一般質問 .....	3 ~ 15
常任委員会の審査報告 .....	15 ~ 16
議会日誌、編集後記 .....	16

## 6月定例会市議会の概要

6月定例会市議会は、6月9日から29日までの21日間にわたって開催された。

この議会には、「平成21年度福知山市一般会計補正予算」など7議案が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決した。

また、人事議案は、教育委員1名の任命について同意するとともに固定資産評価審査委員会委員の選任、人権擁護委員の候補者の推薦にそれぞれ同意した。

さらに、「福知山市有線テレビジョン放送施設条例の一部を改正する条例」については、再度、委員会継続審査とした。

### 補正予算

一般会計では、税等還付金1億8000万円、学校施設バリアフリー化改修工事など900万円ほか総額2億2770万円を補正し、補正後の総額を377億7887万9千円とした。また、老人保健医療事業特別

## 7月臨時市議会の概要

7月臨時市議会は、7月13日から16日までの4日間にわたって開催され、上程された「平成21年度福知山市一般会計補正予算」及び「平成21年度福知山市下水道事業特別会計補正予算」の2議案を審議し、いずれも原案とおり可決した。

### 補正予算

一般会計は、緊急雇用特別対策事業2754万1千円、ノーベル賞下村脩さん来福記念事業300万円、小・中学校に電子黒板を整備する小中学校ICT環境整備事業2億4711万5千円ほか総額10億3967万4千円を補正し、補正後の総額を

会計では、過年度分の支払基金・府負担金返還金151万2千円を追加し、補正後の総額を9413万2千円とした。

また、介護保険事業特別会計で4629万2千円を補正し、補正後の総額を61億1129万2千円とし、補正後の全会計の総額を785億5107万2千円とした。

### 工事請負契約の変更について

福知山市合流式下水道緊急改善事業 中部CSO貯留施設貯留管渠築造工事

### その他

● 土地の取得について

● 和解について  
● 京都地方税機構の設立について

### 報告

● 平成20年度予算繰越計算書について

### 人事議案

● 教育委員  
大槻豊子さん(和久市 42歳)  
● 固定資産評価審査委員会委員  
乾倅一郎さん(立原 63歳)  
● 人権擁護委員  
向山仁美さん(額塚 71歳)

## 請願(6月定例会上程分)の審査結果

### 不採択となったもの

納税緩和措置の積極的活用と「京都地方税機構」への拙速な議決ではなく十分な説明・審議を求める請願

請願者 福知山民主商工会

代表者 荻野 敏治さん

全京都建築労働組合福知山支部

代表者 塩見 正明さん

9月定例会市議会の予定(25日間)

9月7日(月) 招集予定  
本会議

15日(火) 本会議  
(提案理由説明)

16日(水) 本会議  
(質疑、一般質問)

17日(木) 本会議  
(一般質問)

18日(金) 常任委員会  
(一般質問)

24日(木) 常任委員会

30日(水) 本会議(採決)

10月1日(木) 会期

\*この議会予定は、今後変更する場合があります。

# 6月 定例会 一般質問



## 創 政 会

奥藤 晃 議員

### 教育行政について

**問** 全国学力テストの市・学校単位の公表は。

**答** 正答率は非公表とすることと調査に参加している。今年度の結果についても、市全体・学校単位の正答率は公表しないということが、教育委員会で議決されている。

**問** 全国学力テストの本市の児童生徒の状況は。

**答** 小学5年生、中学2年生を対象に、8種類の調査を実施したが、本市の結果については概ね良好であった。

**問** 全国学力テスト・全国体力テストのホームページでの公開について。

**答** 調査結果など、本市の児童生徒の状況については、

**問** 文武向上プラン支援事業についての取り組みは。

**答** どの学校も実態を詳細に分析し、自校の課題に即応した計画が実施されている。

**問** 1校あたり2万円、児童生徒1人あたり730円となっているが、助成規模の拡大は。

**答** 教育委員会として、助成規模の拡大を要請していきたい。

課題の検証ともなるので、いろいろなメディアによる広報を図っていきたい。

**問** 文武向上プラン支援事業についての取り組みは。

**答** どの学校も実態を詳細に分析し、自校の課題に即応した計画が実施されている。

**問** 1校あたり2万円、児童生徒1人あたり730円となっているが、助成規模の拡大は。

**答** 教育委員会として、助成規模の拡大を要請していきたい。

**問** 今年度から直営で運営される市民プールについて、

**答** 学校プールが完備され、役割を果たしたと認識している。また、新たな建設について、

**問** 今年度から直営で運営される市民プールについて、

**答** 学校プールが完備され、役割を果たしたと認識している。また、新たな建設について、

**問** 今年度から直営で運営される市民プールについて、

**答** 学校プールが完備され、役割を果たしたと認識している。また、新たな建設について、



役割を果たした市民プール

いても考えていない。今後は、さまざまな課題の整理を行い、市民の理解を得ていきたい。

(教委・生涯学習課)

**問** 長田野運動場のトイレ増設について。

**答** 現在は考えていない。グラウンド利用者も駐車場横に設置してあるトイレを引き続き利用していただきたい。

(土木建設・都市計画課)

**問** 長田野工業団地内の雇用状況は。

**答** 全国的にも厳しい経済状況の中で、新たに設立に投資した会社がある。完成すれば100名の雇用が生まれると

**問** 申請状況と地元経済への波及効果は。

**答** 6月10日現在で、交付決定3万1501所帯、辞退3所帯があり合計3万1549所帯で全体の92.1%となっている。未申請者については、各地域に相談窓口を開設し、広報

## 平 成 会

高宮 辰郎 議員

### 定額給付金について

**問** 申請状況と地元経済への波及効果は。

**答** 6月10日現在で、交付決定3万1501所帯、辞退3所帯があり合計3万1549所帯で全体の92.1%となっている。未申請者については、各地域に相談窓口を開設し、広報

**問** 申請状況と地元経済への波及効果は。

**答** 6月10日現在で、交付決定3万1501所帯、辞退3所帯があり合計3万1549所帯で全体の92.1%となっている。未申請者については、各地域に相談窓口を開設し、広報

(財務・財政課)

くちやま、啓発のチラシ、ポスターの掲示、有線放送などでお知らせを行い周知している。波及効果については、ドッコイセ商品券総額2億7500万円が、8月31日までに確実に消費拡大につながるかと考えている。

(農林商工・商工振興課)

**学校統廃合と教育のあり方について**

**問** 「公誠小学校休校・北陵中学校閉校」という苦渋の決断をされた地域住民の思いを受けて、今後どのように進めていくのか。

**答** 新しく通学することになる校区の自治会長や役員の皆様、そして保護者に、休校・統合に至る経緯や、今後の進め方の説明を行い、新しい学校づくりの協力をお願いした。今後は新しくなる校区の保護者などで組織する統合等の準備委員会を立ち上げ、通学などの調整課題について、子供たちが夢と希望を持って新たなスタートができるよう検討していきたい。

**問** 小中一貫教育について教育長の所見を伺う。

**答** 大阪市が平成23年、横浜市が平成22年に、全ての

学校で小中一貫教育を実施されると聞いている。現況の六・三制の義務教育の教育課程を従来の枠にとらわれず編成する、新しい教育の考えに基づくものがあり、学力向上フロンティアとしての取り組みに始まり、現在では少子化の地域の取り組みとして広がりを見せている。小中一貫教育を進めるにあたっては、小中連携が今なぜ必要なのか、連携を通して何を実現したいのか、課題を充分に見極めて取り組む必要がある。

(教委・教育総務課)



公誠小学校・北陵中学校

**中心市街地活性化について**

**問** 今回の「ホームセンターコーナン」の建設規模縮小ならびに、(仮称)北近畿の都

センターを含めた駅周辺地域の活性化について、市長の見解を改めて伺う。

**答** 経済状況が厳しいなか、生鮮スーパーが出店されないのは残念であるが、コーナン直営店舗面積の大きな変更もなく、大規模街区賑わい拠点創出事業の趣旨に適合している。また、審査委員会でも審査していただき、変更計画についての意見を聞き、判断させていただいた。現在、建設計画を凍結している(仮称)北近畿の都センターは、市民も参加する形の検討委員会を7月を目前に立ち上げ、目先でなく、10年20年後に良い評価をしていただけなものにしていきたい。市民全体が判断が正しかった」となるような皆様の意見を十分に聞いて検討していく。(土木建設・福知山駅周辺整備課)

**日本共産党市会議員団**

塩見 卯太郎 議員

**国の補正予算を大胆に市民の暮らし応援に**

**問** 国の補正予算の福知山市配分は6億9400万円

が予定されている。自在に使えるメニューとなっているが、どのような事業が計画されているのか。

**答** 市の今年度の強化策である環境、農業、福祉、教育に重点を置いて事業化するとともに、予定している事業の前倒しを行い、中小企業への受注などを検討していく。(財務財政課)

**経済危機のもと、雇用・不況対策の一層の強化を**

**問** 昨年来の経済危機による長田野工業団地の雇用と出荷額の現状と、市の緊急不況生活支援対策本部活動の現状と課題は。

**答** 出荷額が前年同期比11%減の2404億円。従業員は昨年同期比809人の減少と不況の影響が大きい。市の緊急不況生活支援対策本部設置から半年になるが、相談件数は延べ690件で国保料に関する相談が最も多い。住宅の入居は準備した10戸すべてに入居され、今後も対応できるよう計画中である。

**問** 市内商店街を訪問し、実情をお聞きし、アンケートを行ってきた。その中で、売

**答** 商業団体などから報告を聞いていますが、実態調査はできていない。今後、融資の対策や賑わい施策の実施などを引き続き検討していく。

(農林商工・商工振興課)



アンケート調査を行なった商店街

**「子ども大会」の日の動物園などの入場料の無料の復活を**

**問** 「子どもに夢を」、「子育てするなら福知山」を掲げた本市として、ぜひとも無料の復活を。

**答** 例年、教育委員会が「子ども大会」当日の無料化をしてきた経過をふまえ、子どもに夢を持っていただき、子育て支援など、本来もつ意義を深く認識し、緑化協会とも協議し、再度無料化を検討課題にしていきたい。

(教委・生涯学習課)



家族連れで楽しんでいる動物園

**国民健康保険料の引き下げを**

**問** 市民に納付書が届けられましたが、なぜこんなに高くなったのかなどの苦情がある。年度途中でも引き下げできないか。

**答** 今年は値上げせざるを得ないのが現状である。国の補正予算の活用は難しいようだが、国の動向など推移を見守りたい。

(市民人権環境・保険課)

**市バスに続いて、自主運行バスの運賃の引き下げを**

**問** 庵我、中六人部、三岳地域の自主運行バス運賃の引き下げについてぜひ検討を。

**答** 自主運行バスの地域も高齢化がすすんでおり、協議会との協議や7月から実施の市バスの運行状況なども見ながら今後検討したい。

(市民人権環境・生活交通課)

高宮 泰一 議員

**学校審議会答申と学校統廃合について**

**問** 答申は教育効果のために20人程度が必要だとしているが、教育的、学問的根拠に基づいて検証されたのか。

**答** 文部科学省の協力者会議では、客観的に実証的に何人が望ましいというのは困難であり、学習効果のうえで適正規模に関する定説的な見解は見出せないとしている。しかし、現場の意見では、集団のなかで学ぶことが多様な意見や考え方に触れて、集中力や理解力を養うことになると考えている。

**問** それでは、今から53年も前の昭和31年文部省通達で12学級から18学級を示し、20人程度としているのはなぜか。

**答** その通達で止まっていたのではなく、それから以降も、国立教育研究所で検討されて、適正規模の問題は教育現場で議論され続けている。

**問** なぜ、複式学級を解消することが緊急を要するものなのか。

**答** 少人数学級では切磋琢磨して学ぶ機会が減少する。音楽、体育など一定の学習集団を要する学習に支障がある。また、友達同士で遊ぶ機会が限定される。児童生徒が活動成果を実感し、充実感や達成感を味わい自己を認識するためには、一定の集団が必要であるという認識から複式学級の解消が緊急を要する課題だと考えている。

**問** 福知山市は、旧村に小学校を持ち、複式学級も何ら劣ることがないと誇りにしていたのではないか。

**答** 確かに誇りを持って教育が行われていたし、今も行われていると思っている。しかし、今はかつてなかったような社会状況の変化に直面している。そのため、今よりさらに良い

教育環境をつくる必要がある。現在、府の独自措置で30人程度の少人数学級になっ  
てきているが、市に権限が委譲されれば国基準の40人学級になり大規模校も検討が必要ではないか。

**答** いつになるか分からないが、国の基準の想定の下で作業を進めていただいたと思  
っている。

**問** 昭和48年に出された「学校規模を重視するあまり無理な統廃合を行うことは避ける。住民の理解と協力を得て進める」という文部省通達をなぜ記載しないのか。

**答** 確かに昭和48年に通達が出されてあり、地域住民の理解と協力を得て行うことは、時代がいつになっても原則であり大切に組みたい。

**問** 学校の多くは広域避難所に指定されているが、耐震化整備と学校統廃合をどう考えているのか。

**答** 統合が必要とされた学校については耐震化を行わないというのではなく、学校統廃合と切り離して耐震化整備を進めていきたい。

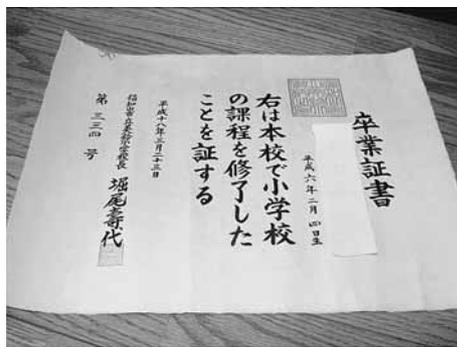
(教委・教育総務課)

### 手すき和紙で卒業証書を

**問** 公平性から卒業証書は同一のものがふさわしいことを理由に反対され続けてきた。伝統文化、伝統産業を学び、特色ある学校教育を進めるなら、もうそろそろ学校の裁量権の範囲で認めることが必要では。

**答** 地域の歴史、文化や産業を学ぶ各学校の特色ある取り組みを支援していくことにしている。学校の要望があれば再度検討をしていきたい。

(教委・教育総務課)



旧大江町で続けられていた手すき和紙の卒業証書

### シカの被害対策は

**問** 昨年度の捕獲数は、駆除で2188頭、狩猟で5

中島 英俊 議員

(農林商工・林業振興課)

72頭、合計2760頭で過去最高。4年前の2倍を越えている。しかし、生息数は調査で2年前の1.5倍に増え、2019頭確認されているので、実際には10倍の2万頭近くいると推定される。捕獲計画が3年間とも1900頭では被害3割減は無理。2500〜2600頭に修正すべきではないか。

**答** 実施計画では2000頭に引き上げている。

**問** 「猟友会」に入っていない人も、免許、経験、技量のある人が駆除に加われるようになるのはいつからか。

**答** 今の段階では「猟友会」の推せんを受けた人たちですすめる。

**問** 銃もワナの免許を持っていないのに、自分の田の防護ネットにかかったシカの処理さえ自分でできないことが起きている。是正すべきだ。市のロードで駆除に加わってもらえるようにしないで、何が新しい市民のための市政か。

**答** 確かに「猟友会」も高齢化しているし、駆除のメンバーも増えたり減ったりしている。市は決して待ちの姿勢ではない。

### 農山村の活性化について

**問** 福知山流の限界集落対策として、17の過疎高齢化集落の支援を始めたが、今年度の方針・特徴は何か。

**答** 昨年度からモデル地区として取り組んで来た。今年度は17集落の代表者で交流の場を持ち、意見や情報を交換して生かせるようにしたい。また、ワサビ・シヨウガ・ミヨウガなどに集落と市が一緒に取り組みたい。周辺部全体の活性化には3月に作った「農山村活性化計画」を参考に取り組みたい。

**問** 「空き家バンク」対策事業の50万円たらずの予算では実際の取り組みにはならないが、どうするのか。

**答** 今年から市域全域で取り組み。すでに所有したい、借りたいとの希望が出てきている。

**問** 水路改修工事の負担金30%は高すぎるが。

**答** 合併協議会ではらつきを30%に統一した。水路は受益者が限られている。

(農林商工・農林管理課)

**問** 「耕作放棄地・遊休農地」が府下で一番多く、206haもあるがどう対策をとって

いくのが。

**答** これからは農業の時代。ピンチをチャンスに変えたい。復活させるよう取り組む。206haの内116haは由良川河川敷の荒廃桑園で、実質的には90ha。昨年からは始めた本市独自の取り組みと、国費による事業とで対応していきたい。

(農林商工・農業振興課)

就学援助制度の状況は

**問** 10年前、5年前と本年度の就学援助率の推移を知りたい。

**答** 10年前は7・8%で3512万円。本年度は17・4%で7443万円。10年で9・6ポイント増え、援助金は2・2倍になっている。

(教委・学校教育課)

吉見 純男 議員

子どもと地域を育てる学校給食の取り組みは

**問** 2005年に食育基本法が成立し、「食育推進基本計画」では、給食の単独調理方式(自校方式)がセンター方式よりも教育的な効果に優れてい

ることを国が認め、これまでのセンター方式推進から方針転換をしたことは注目にあたいます。改めて学校給食の理念を問う。

**答** 給食を教材として、人間としての生き方、在り方を学ぶものであり自立を培うものと考えている。

**問** 市民参加のもと、議論をつくって学校給食の推進をはかるべきであるが。

**答** 全市立小中学校の学校給食の実施方法と給食センター整備内容などについて、PTAや関係者に情報提供を行っていく。現在、給食の推進体制を含め全体計画案を整備中。早い段階で公表していきたい。

**問** 全小中学校を対象にして先行取得した8100食分の給食食器の活用計画は。

**答** すでに大江、夜久野給食センターで使用しており、福知山、三和給食センターで本年9月より使用の予定である。

**問** 旧福知山市内中学校の給食未実施分の食器が未使用状態で残る。有効活用がされるよう中学給食方式を検討すべきだが。

**答** 総合的な調整を行っているところだ。

(教委・学校給食センター)

子どもの医療費無料化の拡充は

**問** 貧困、格差の広がりが子育て世代の生活を圧迫している。早急なる子どもの医療費無料化の拡充が求められている。実施時期、拡充内容は。

**答** 市次世代育成支援行動後期計画策定に向けての懇話会のなかで、「ふくふく医療」制度の拡充について検討していただいている。実施時期は来年度以降と考えている。

**問** 平成20年4月より、子どもの医療費一部負担金が3割から2割に減額された。このことによる子どもの医療費無料化に係る福知山市の歳出減は年間1200万円と報告されている。「ふくふく医療」対象年齢を1学年引き上げ小学4年生までとした場合、年間約840万円の歳出増と聞いているので、国の制度改定によって生み出された財源をあてればすぐにでも実現可能だが。

**答** システム改修費もかかるので時間をいただきたい。次年度にはそういう方向で考えたい。

(福祉保健・子育て支援課)

市立保育園の耐震補強と整備計画は

**問** 福知山市市立保育園整備計画(案)が示されているが市立保育園耐震補強と施設整備の現状と今後の計画は。

**答** 16園中、昭和57年以前に建てられた12園とも耐震診断は未実施となっている。安全な保育環境の整備をすることは重要。今後、未整備の全保育園については耐震診断を進め、計画的な改修を検討していきたい。

(福祉保健・子育て支援課)

足立 進 議員

福知山市職員収賄事件について

**問** 福知山市職員収賄事件で今後の市の対応は。

**答** 裁判は継続しており、市として一審判決を重く受け止めている。また、行政責任の重大性を痛感している。汚職事件に対しては、就任以来事件の解明と汚職収賄体質の一掃の姿勢はなんら変わらない。

**問** 3度目の調査報告書は出るのか。

**答** 前市長、前副市長に調査ができていなかったが、最近、その調査については終了したところである。今後もし器購入、駐車場建設に関わった職員については、引き続き調査を行い、公表していきたい。

(総務・職員課)

**仕事づくりの住宅改修助成制度の再開について**

**問** 本市の建設業の現状はどうか。

**答** 建設業の状況は、金融機関や商工会議所の状況調査によると、昨年来の材料価格の強い上昇が急速に弱わまってきて、ほぼ沈静化をしてきたところであるが、他の業種と同じく、建設業も悪化している状況である。

**問** 国の経済対策のための補正予算を使って制度の再開はどうか。

**答** 今年度の補正予算より、再開するとしても、実施期間が半年あまりと限られ、短期間の取り組みになることから制度の再開は困難であると判断している。

(農林商工・商工振興課)

**地域の生産森林組合への支援について**

**問** 本市には17の生産森林組合があるが、赤字組合への法人税の減免はできないのか。

**答** 法人市民税は市内事務所法人等に均等割り額と法人税額の合算額により課税をしている。生産森林組合は森林所有者である個人や法人の集合体で、税の減免要件となる担税力の減少といったことは考えられない。減免に該当する要件が存在しないこと、税収が大きく減少する現状のきびしい経済環境において法人市民税については、本市独自の減税策をつくることは考えていない。

(農林商工・林業振興課)

**自由民主党議員団**

和田 久 議員

**旧ガス工場跡地問題について**

**問** 20年度補正予算で2月に8700万を特別損失として専決処分し、旧ガス工場跡地残存杭撤去処理工事を執行。

4月には土壌安定化処理工事を21年度の既決予算を流用して執行した。総額1億2500万円になる多額の予算を要する重要な案件にも関わらず、法的にも招集可能な臨時議会も開催せず隠し通し、随意契約で特定業者に工事発注した行為は議会軽視であり、執行責任者の説明を求め。

**答** 「フレスポ福知山」計画が本年9月開業を指しており、工事が遅れば多額の損害賠償問題が想定されるので開発業者のダイワリースと随意契約した。しかし、議決と同じ行為を2度行った事に対して、議会にご迷惑をかけたことを深くお詫びします。

**問** 平成17年に伊藤忠グループが開発者となり、セントラムシティー構想を発表。その後、ファーストライン、オーパス、セイコーハウジング、Dトラストスリーからアイコーポレーションと身内転売が行われた行為も問題になった。また、駅南地区の一等地が1,145万7000円、一坪当り18万8000円で隣接の駅南土地区画整理事業地の単価は1,14万6000円、一坪当り48万1800円と差額が約30万円あり、安すぎ

るとの指摘に一括買い上げだからとの説明であったが、現実には理解できない切り売り状態である。売却価格は適切だったのか。

**答** 平成17年に隣接する京都交通への売却分の価格が1,14万7000円で、その時点から基準修正し、土地形状や規模による補正をして1,14万7000円で決定し契約した。

**問** ダイワリースは建築業登録業者であるが、今回の工事は土木工事。競争性、透明性、公平性が保たれた随意契約とは思えないが。

**答** 競争入札に付することができなかった今回の場合、競争性はない。しかし、地方自治法施行令、市財務規則と地方公営企業法に基づいて行っており、下請け業者が土木工事指名願いを受理されれば問題はない。

**問** 経済委員会と本会議でも不承認され、継続審査中に部下3人に懲戒処分を行い、当時の契約責任者である蘆田昭副市長と現の岩城一洋ガス水道事業管理者は、給料および地域手当10分の1、1カ月の辞退を申し出て決着を図った。しかし、課長級職員は1カ月前に休暇届を正規の手順で提出し受理され

(ガス水道・総務課)

ていたにもかかわらず、職歴に傷がつく。一方、上司の戒告にならない状態に対し職員から不満が出ているが。

**答**

引き継ぎが十分行われなかったこと、市民感覚・目線からいうと、市民代表の議会説明会に居合わせないことを認めた判断は甘かった。上司の10分の1、1カ月は副市長7万3000円、ガス水道事業管者6万8000円で懲戒処分と同等の厳しい処罰とされている。

(ガス水道・総務課 総務・職員課)

木戸 正隆 議員

**地方公営企業会計の経営健全化基準導入とは**

**問**

この改正により、本市の財政はどのように想定され、負債はどのようになるか。

**答**

現行法では借入資本金は資本に計上されているが、これが負債に算入されると、貸借対照表の資本が減り、負債が増えて内容が悪化することになる。なかには、債務超過に陥るケースも想定される。

**問**

この会計基準で見直せば本市の負債の総額は、いくらになるか。

**答**

本市の場合、平成19年度決算を新しい基準案で処理すると、いずれの会計も資産が負債を上回ることから債務超過に陥ることはなく、資産をすべて売却しても、負債を返却できないというような状況にはない。

**問**

本市の財政状況について、職員へ周知徹底をどのように行うのか。

**答**

財政健全化法によりオール福知山の財政評価が求められる。一般会計の財政構造の健全化は、常に将来を見通した財政運営をして、財政シミュレーションを毎年見直し、部長を中心に関心職員が財政状況の共有化を図る必要があると考えている。

(財務・財政課)

**地域活性化、経済危機対策 策臨時交付金の活用と施策は**

**問**

合併していない舞鶴市より合併算定替で、3億1400万円も多く配分された交付金6億9400万円の考え方は。

**答**

ご指摘のように臨時交付金は、合併市町村については旧市町村単位で算定した額

を合算することにより、合併団体に手厚い財源処置になっている。

**問**

この交付金は、過疎地等の条件不利な地域に配分された財源であると認識しているが、どのような施策を行うのか。

**答**

現在、事業計画を策定中で本市域の中小企業の受注機会の創出、市民の願いを踏まえて福祉、農林業、教育に重点を置いた事業化を図って行きたいと考えている。

(財務・財政課)

**第5次高齢者保健福祉計画の施策は**

**問**

だれもが住み慣れた地域で安心して、生活し続けることができる施策は。

**答**

要介護状態になっても地域の中で、なじみの関係を保ちながら生活できるように、また身近な地域でサービス利用ができるように、平成23年度末までに認知症対応型通所介護事業所を、新たに7施設を整備するほか、市内で6つの日常生活圏に小規模多機能型居宅介護事業所を各一カ所配置する整備計画を立てている。

(福祉保健・高齢者福祉課)

**三和町梅原処分場に関する地元説明会の結果と対策は**

**問**

公害防止協定に基づく水質検査のデータの情報公開と遮水シートの点検業務は。地元住民の理解が得られる行政と保健所が原因究明を調査して、地域住民の安心が得られる対策を。

**答**

水質検査の測定項目に基準値を上回る成分が検出されたが、測定結果の分析や遮水シートの調査の結果は、施設には問題なく、地下水が起因していると思われる。いわゆる地質由来(もともとその土地の土壌に含まれている成分)によるものであると考えている。今後とも地域住民の皆様に安心していただけるよう、地下水観測用井戸の水質検査の充実と報告について、保健所等の関係機関との協議・調整・指導を実施していき、施設の健全管理に努める。

(市民人権環境・環境政策室)

**公明党議員団**

今次 淳一 議員

### 三段池公園の諸施設について

**問** 移転後の武道館は関西大会クラスが利用できると思われるが、観覧席が無くコート寸法は一般的より1m狭いなど、不備な点が多数あるが対策は考えているのか。

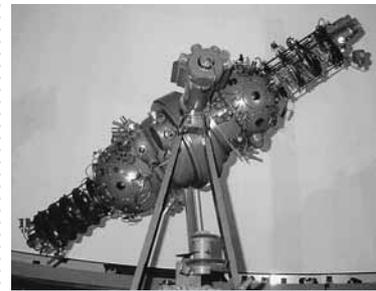
**答** 不適合との指摘は受けていないが、観覧席のある大会があることは聞いている。いろいろな競技に活用してもらい、大きな大会を呼び寄せようPRしていきたい。

**問** 某電器メーカーが展示会場として利用されたが、そのため本来使うべき武道関係者が締め出しを受けた。本来の武道館の目的を逸脱した行為ではないのか。

**答** 関係者に迷惑をかけたこととはお詫びする。今後のことについては検討していく。

**問** 児童科学館のプラネタリウム映写機は昭和59年製造で使い勝手が悪い。最近では新感覚のプラネタリウムが主流である。映写機更新の検討を。

**答** 古いことは承知している。今後は更新を含め検討をしていく。  
(土木建設・都市計画課)



旧式の昭和59年製映写機

### 障がい児・者の施策について

**問** 福祉医療制度は、保険給付額の残り、自己負担分を給付するものであるが、但し書きに「精神疾患での入院医療費は給付の対象にならない」と書いてある。この規制を削除することができないか。

**答** 合併協議会の試算では対象者が162人で、1年間に4780万円が必要とされた。長期入院の方が多く給付はきわめて困難であるが、今後考えていきたい。

**問** 「障害」の「害」の意味は辞書によると、「そこなう、傷つける、壊す、妨げる、忌む、きらう」とある。表記を「障がい」にと平仮名に改めては。

**答** 福知山市では「障害のある人」を使っている。全国的な動向を踏まえて検討したい。

**問** ボランティア「朗読福祉活動」グループは、「広報ふくちやま」、「議会だより」などをカセットテープに録音して30数名の視覚障害者に利用してもらっている。ダビング機器が古く、故障もあり困っておられる。機械の入れ替えに助成はできないか。

**答** 頑張っておられることは承知している。今後検討したいが今は難しい。  
(福祉保健・社会福祉課)

### 環境対策について

**問** 新経済対策の中で、学校に太陽光発電のパネル設置を集中的に進めるとある。現在、南陵中学校改築工事が施工中だが、補助金制度活用を検討は。

**答** 実施設計の見直しは難しい。当面は学校の校舎・体育館の耐震補強を実施していく。学校の安全・安心を考えていきたい。  
(教委・教育総務課)

大谷 洋介 議員

### 女性特有のがん検診推進事業の取り組みを

**問** 子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポン券が、そ

れぞれ20〜40歳、40〜60歳のうち、5歳ごとの対象者に配布される。調整に時間をかけず、スピードをもって市民に交付してほしいが。

**答** がん検診の受診率を上げるため、早期の実施を目指したい。  
(福祉保健・健康推進室)

### 市立福知山市民病院の使命や運営方針について

**問** 目指す医療の方向性は。

**答** この地域で、ほとんどの医療が完結する「地域完結型医療」を目指す。また、地域がん診療連携拠点病院としての機能も求められている。

**問** 東京都では群を抜き、医師数が増加しているが、総合内科の新設等、魅力ある研修環境の整備に力を入れた結果と考えている。研修医も本年6名就職している。

**答** (市民病院・総務課)

内科 Internal Medicine	心臓血管外科 Cardiovascular Surgery
精神神経科 Psychiatry	小児外科 Pediatric Surgery
神経内科 Neurology	皮膚科 Dermatology
泌尿器科 Urology	泌尿器科 Urology
消化器科 Gastroenterology	産婦人科 Obstetrics and Gynecology
眼科 Ophthalmology	眼科 Ophthalmology
小児科 Pediatrics	耳鼻いんこう科 Otorhinolaryngology
外科 Surgery	リハビリテーション科 Rehabilitation
整形外科 Orthopedic Surgery	放射線科 Radiation
脳神経外科 Neurological Surgery	放射線科 Radiation
泌尿器科 Urology	泌尿器科 Urology

総合病院として充実した診療科群

乳幼児インフルエンザ感染予防のヒブワクチン接種に対する助成を

問

国内では、年間10000人の乳幼児が感染し、5%が亡くなり、4人に1人が後遺症で苦しんでいる。ヒブワクチン接種費用は、1回7000円〜8000円で、合計4回で約3万円必要。公的助成の考えは。

答

昨年12月より販売開始されたが、在庫不足状態と聞いている。解消され次第、検討する。(福祉保健・健康推進室)

校庭や公園などの芝生化を

問

子どもが思い切り体を動かすことができ、地域住民のスポーツ交流も盛んになる。緑化だけでなく、土ほこりを妨げ、ヒートアイランド減少をやらげることが。

答

定期的な芝刈り等の人員確保が大変。低コストの鳥取方式等をさらに検討していきたい。(教委・教育総務課 土木建設・都市計画課)

市土地開発公社が所有する土地の個別時価の開示を

問

以前、財政健全化指標の発表に伴い、秋口には開示することだったが。

答

取りあえず、売却した土地から時価を開示したい。そのほかの土地については、改訂モデルの場合、簿価報告が認められており、当分はそれで対処したい。(財務・財政課)

新 政 会

杉山 金三 議員

松山市長一年を省みて

問

この一年市政に取り組まれた市長の思いは。

答

一年は早いものであったと言いつ間にすぎた。毎日新しい緊張の連続で、そして難問を抱えながら、頑張らしてもらっている。常に心の中には市民を中心に、そして市民とともに歩みたいと言いつつ、市民と同じ位置に立っているということが私の基本的な考え方である。特に時間のあるときは、皆さんがどのようなことを言われ、思い考えておられるのか、どこへでも出向くことにしている。福知山が好きである。一人でも

多くの人に福知山を好きになってほしい。賑やかになってほしいと願っている。(企画政策・秘書広報課)

経済不況対策について

問

市の経済情勢をどのように把握しているか。

答

商工会議所や金融機関の調査では、「全業種ともに業況は悪化している」との判断である。特に、製造業は需要の停滞が影響し、平成14年以降7年ぶりの低水準にある。(農林商工・商工振興課)

問

長田野工業団地立地企業との連携は非常に重要であると考えますが、地元企業の受注状況とその経済効果は。

答

平成20年度の立地企業から地元企業への下請け状況は、製造加工・修理・資材購入を合わせて60億4400万円となっている。前年度の67億5000万円から約10%の減少であるが、地元企業にとつて長田野工業団地が大きなウエイトを占めている。(農林商工・産業立地課)

由良川改修事業について

問

福知山市管内における改修事業の進捗状況は。

答

平成20年度末時点で暫定堤防を含めた整備率は、綾部市境から筈巻橋までの中流部は72.0%、筈巻橋下流から舞鶴市境までの下流部が21.5%で、市地域全体では48.9%である。

問

整備計画が策定されていない地域の皆さんは、早期の整備計画への位置づけを強く要望されているが、その見通しは。

答

平成16年の台風23号の被害を踏まえた対応に見直していたとともに、「由良川下流部緊急水防対策」の整備地区外及び土師川直轄区間高畑地区を整備地区に加えていただくよう強く要望している。国土交通省において見直し作業が進められているが、入念な対策及び規模の検討が必要のため、時間を要していると聞いている。

問

中流部の整備計画の目標は平成15年から概ね30年となっているが、「由良川下流部緊急水防対策」は平成17年から概ね10年となっている。これらの期間には大きな差がある。中流部の整備期間の短縮はできないか。

答

中流部と下流部の築堤整備のバランスを充分考慮

して、できるだけ早期の河川整備を実施していただくように、国土交通省に働きかけるともに、「由良川治水促進同盟会（会長福知山市長）」を通じて引き続き要望していく。

（土木建設・都市整備課）



市議会由良川改修促進特別委員会現場視察  
（平成21年7月1日）

審良 和夫 議員

深刻化する市の商工業界における景気低迷について

**問** 景気低迷が進む中、停滞する市政に対し、市民からは大きな不満と改善への期待があるが、その要因と対策について所見を聞く。

**答** 世界的不況の中、底を打ったとの声もあるが、地方都市である福知山市においては、経済状況は依然として悪化

している。特に、新型インフルエンザが追い打ちをかけ、さらに厳しい状況になった。商工会議所や金融機関の調査では、18カ月連続の悪化となっており、市場の停滞が主な要因と報告を受けている。市としての対策は緊急不況生活対策本部を立ち上げ、緊急の住宅支援、生活支援就業支援、経営支援を実施してきた。

（財務・財政課）



開発を待つ雑草だらけの駅北街区

旧ガス工場跡地の残存杭問題について

**問** 約1億2500万円の事業を市民、議会を無視する専決処分とした松山市長の考えと責任は。

**答** 工期が短く、一日遅れると数百万円とも言われる補償問題等のおそれもあり、議員や市民に説明することができ

れば良かったが、時間がなく社会的、経済的に判断して専決処分とした。

**問** 時間がなかったとはいえず、工事計画がずさんに感じるが、蘆田副市長の見解は。

**答** 工事中報告は受けていて、適正な工事であったと思っ

**問** 5件の工事に分けて発注となつてはいるが、当初より全て予定されていた事ではなかったのか。

**答** 工事当初では、予測がつかず、工期内に終了できなかったからなかった。その上、新たな残存物が見つかり、懸命の努力をした。

**問** 土木工事の基本に基づき、掘削、埋め戻し等の工事がなされていれば、土壌安定処理工事は不要だったので。

**答** 土壌安定処理工事については、雨や湧水が多く、地盤がゆるみ、次の杭打ち工事に支障が出たため、改良を必要とした。妥当な工事であった。

（ガス水道・総務課）

福政会

武田 義久 議員

都市計画税と都市計画事業との関わりについて

**問** 市税収入の内、都市計画税の年間約2億6000万円は一体何に使われているのか。

**答** 都市計画税は、都市計画法による市街化区域内に土地や家屋をお持ちの方に課せられる目的税であり、公園・道路・下水道などの都市施設の建設・整備などの費用に充てられている。

**問** その財源を予算編成時にどのように扱っているのか。

**答** 目的税として徴収するが、予算区分上は一般財源となる中で、都市計画上事業予算執行の財源に振り分けている。

**問** 目的税は、その区域内の土地や家屋の価値を高め、その利益を最終的に受ける方々に対してかけるものであるが、近年は福知山市全体の価値を高めるための事業が大型化しており、公平性等に疑問を感じるが、まずはその用途を明確にするべきではないか。

**答** 福知山市においては、この税は大変貴重な財源であり、今後は「広報ふくちやま」

の決算のお知らせの中で具体的に周知していきたい。

(財務・財政課)

バス運行の確保と財源との関わりについて

JRのオンデマンドバスの実証実験の結果は、

平成19年3月1日から本年2月末までの検証から、

1年目は3176人、2年目4064人で、当初計画には届かなかった。今後引き続きPR活動等を行っていきたい。

バス事業で民間、自主運行、市バスの市補助の負担額が平成17年度は約7000万円、平成18年度は約7600万円、平成19年度は約8600万円と年々増加しているが、この状況をどのように認識しているのか。

自家用車の増加や少子高齢化、過疎地域の増加等により、乗車人員が減少し採算が悪化している。赤字を補填しているが、厳しい経営環境にあると認識している。

公共交通のネットワークの構築や、地域公共交通会議や経営改善をどのように考えているのか。

公共の事業者間の協議を進め、複数路線の変更や連携をさらに進めていき、経営改善に努めていきたい。(市民人権環境・生活交通課)

一般家庭から出る不燃ごみの埋立処分場の状況は、平成19年度は1435t、平成20年度は1643tで約200tの増となっている。

近年増加している短期賃貸マンションから出るごみは家庭系なのに、市の委託業者が収集せずに、市外業者が収集に回っているのは、分別されない状況なのか。

設置者が市外業者に依頼しているものと認識している。引き続き、分別したものを収集に埋め立て処分場の延命化にも繋がるよう努めていきたい。(市民人権環境・環境政策室)

事業限度額は約257億円。昨年度までに武道館移築整備などで約54億円使用した。今後は、事業推進中の「e・ふくちやま」、広域交通網促進、防災センター、給食センター等の整備を予定している。(財務・財政課)

「e・ふくちやま」の地域環境格差考慮の推進を

平成23年7月24日から市民の意思に関係なく「IT国家基本法」に基づき、地上デジタル電波に移行させられる。これまで共聴組合等でテレビ視聴ができていた難視聴といわれる地域はこのままでは見られなくなる。国の全面財政支援により、福知山市もインフラ整備の立場から環境に恵まれない地域の格差なき整備をされたい。国は交付金や合併特例債を設け、

充分組み合わせ活用されたいとしているが。

もちろん、地デジ移行は国策によるものであり、国の全面財政面の援助があつてしかるべきであるが、国は利用者による一定の負担を考えている。本市も一定の加入金や使用料を提示している。

難視聴地域といわれる地域は過疎化や高齢化が特に進んでいる。低所得者のための使用料等の減額や免除等は考えられているか。

その点は、条例の中で明記し配慮している。

「e・ふくちやま」事業で鳥ヶ岳から電波を旭が丘の再送信施設へ送られているが、その施設の利便や賃貸料、駐車場、家賃料等、諸々の経費がかさむ。節減の上からも市庁舎に移設の考えはないか。

計器の重量やセキュリティの問題から庁舎外に設置した。(企画政策・情報推進課)

合併特例債の活用状況及び今後の予定は、

芦田 弘夫 議員



合併特例債活用の武道館



再送信施設のある放送センター(旭が丘)

# 明 政 会

池田 雅志 議員

## ごみ問題の取り組み状況とボランティア活動事業の進捗は

**問** 市長公約である、ごみ分別簡素化、市民負担の軽減についての、ボランティア活動事業の進捗状況は。

**答** ごみ問題はもう少し簡単には解決するものと思っていた。福知山市のごみ分別については大変進んでおり、環境政策面も考慮しながら進めることでもあり、たいへん難しい問題にぶつかっている。しかし、障害のある人や一人暮らしの高齢者の方の分別とごみステーションまでの運搬が気がかりである。生活支援体制を優先させるべくボランティアを募って行う予定で、現在、具体的な内容について検討中である。

**問** 一人暮らしのお年寄りや障害のある方への負担軽減策として「福祉袋」の導入を提案したい。支給した「福祉袋」で出されたごみは無条件で回収

し、そのあとで、分別する生活支援策を検討項目に加えてもらいたい。

**答** 負担軽減になるかどうか、効果や影響度合いを勘案して関係機関で検討させてほしい。  
(市民人権環境・環境政策室)

## 放課後児童クラブの人数増に伴う過密対策について

**問** 雀部小学校の児童クラブは昨年比べて入部希望が多く過密状態であるが、他校の大規模クラブ入部状況は。また、登録人数・定員・待機中の有無について伺う。

**答** 入部状況については直営クラブが12カ所あり、常時登録人数は586名となっている。大規模クラブでの常時利用登録人数は、雀部小84名、惇明小78名、昭和小68名、大正小70名、修斉小61名、下六人部小63名となっている。定員については国の基準では1クラブ70名である。実際の利用人数については登録人数の75%程度となっている。年度途中で常時利用の申込がある場合は、入部時期の調整を行っている。クラブ環境は、教室を利用しては雀部小、惇明小、大正小が厳しい状況で

ある。

**問** 雀部小の放課後児童クラブでは過密により、なかにはストレスも高まっている児童もいるようなので、宿題などの取り組みも難しい状況である。過密化対策を。

**答** 空き教室がない状況で、プレハブ施設なども検討したが契約電力の上限での使用であり、受電設備を改修できない状況。新しい状態は見ているので何とかしなければと思っている。今後、国などの補助金を活用してできるだけ早く改善したい。しばらく時間がほしい。

**問** 対策までの期間、前田教育集会所が利用できないか。

**答** そういった施設の活用もひとつの検討材料として検討したい。(福祉保健・子育て支援課)

# 無 会 派

荒川 浩司 議員

## 第4次総合計画について

**問** この計画は、前市長が策定された内容であり、ま

た現在の経済状況を考えたうえでも、計画の見直しが必要では

**答** 皆さんが承認なさって作られたものを、前の市長と同じにしているとは思っていないが、計画の中にも書いてあるように「時代の変化に対応できるように」とあり、見直しは考えていない。

**問** 第4次行政改革大綱では5年間で47億5000万円の削減目標であるが、市長の目標は。また、人口10万人目標の見直しは。

**答** 経費削減の上乗せも必要。人口は10万人を目指すのが、昼間人口を増やしたい。  
(企画政策・企画推進課)

## ガス工場跡地の残存杭の処分について

**問** 議会に対して専決処分の説明を行った、今年の2月23日の前日、前々日である21日(土)・22日(日)に、ガス水道部長と蘆田副市長は職員旅行に行っておられたと聞くが、本当か。

**答** ガス水道部長「行っておりました」

**答** 蘆田副市長「記憶がない」

### 6月定例市議会常任委員会の審査報告

#### 総務委員会

当委員会に付託された議第9号、平成21年度福知山市一般会計補正予算(第3号)のほか議第15号「京都府地方税機構の設立」について審査を行った。議第9号の消防団資機材整備事業に関して、市民への啓発活動の状況を問う質疑があった。保育園・幼稚園への防火防災教育など、年間延人数、約1万8千人に対して講座や指導を行った、との答弁であった。議第15号京都府地方税機構の設立については、徴収業務が京都府地方税機構に変わることについて、市民への周知方法を問う質疑があった。広報ふくちやまや、広域連合のホームページ等を活用し、督促状や催告状にも内容を確認して知らせていくとの答弁であった。税金と国民健康保険料の滞納について、その支払い優先度は税が優先されるという中で、命を保障するという観点から、機械的に税の納付が優先となることを懸念する質疑に対し、納税者本人が窓口等で納められる場合は、納税者の方の意思が優先される、との答弁であった。以上の経過で審査を終え採決の結果、議第9号は全員賛成で、議第15号は賛成多数でいずれも原案のとおり可決された。

#### 市民厚生委員会

当委員会に付託された議第10号「平成21年度福知山市老人保健医療事業特別会計補正予算(第2号)」と、議第11号「平成21年度福知山市介護保険事業補正予算(第1号)」について審査を行った。提案内容は議第10号は、超過交付となった府負担金、支払基金交付金を返還するものであり、第11号は、周知用パンフレット作成と超過交付となった国、府負担金、支払基金交付金を返還するものであった。委員からは、介護従事者処遇改善臨時交付金の全体像についての質疑があり、従事者報酬の3%改訂が保険料に極力影響しないよう国が補填する制度との答弁があった。その他にも各委員から多くの質疑があり、それぞれ詳細な説明を受けた。以上の経過で審査を終え、採決の結果、議第10号、議第11号はいずれも全員賛成で原案可決された。

#### 経済委員会

当委員会に付託された議第12号「工事請負契約の変更について」、「福知山市合流式下水道緊急改良事業 中部CSO貯留施設 貯留管渠築造工事」の工事現場を視察したのち、審査を行った。まず、今回の変更理由である「維持管理立坑部の地盤改良工法の変更」の具体的な内容を問う質疑があり、予想していた以上に地下水の流速が速く、湧出量も多いため当初予定していた、2重管ストレーナー複相式から、より安全に工事を行うために、2重管ダブルパッカー方式に変更した。この工法の変更によって、工事費が約200万円増額になった、との答弁があった。また、維持管理立坑部と道路面との接点についての質疑もあり、詳細な答弁があった。以上の経過で審査を終え、採決の結果、本議案は全員賛成で原案可決された。

#### 文教建設委員会

文教建設委員会に付託された合計3議案について慎重に審査を行った。議第9号「一般会計補正予算のうち、雀部小学校廊下手摺他改修工事」は、視力が全くなかった教諭の復職に伴うものである、との説明があった。議第13号土地の取得について、長田野公園用地の取得完了後は、緑化重点地区整備事業として園路整備やあずま屋の設置など、市民が公園を活用できるように計画しているとの答弁であった。議第14号和解については、公用車の事故は個人をたがめるだけではなく、事故の発生原因を分析・調査し、民間事業所の例も参考に、事故防止の検討組織の設置を強く求める意見が出された。以上の経過で審査を終え、採決の結果、全議案全員賛成で原案可決された。

**問** 今回の契約の問題点は、また、入札の開票日時や場所の提示がなかった事や、入札時に第三者の立ち会いが無かったと聞くが、適法であったか。

**答** 三和の市バス委託契約について

**問** 専決処分前の報告前に旅行へ行くことの方考は、土・日曜の旅行については、いま知った訳だが、勤務を要しない日となっており、処分をした職員とは、その辺の差異があると認識している。

(ガス水道・総務課)

**問** 昨年12月の臨時株主総会で、資本金8000万円を6割減資された。しかし、今年の7月から複数の取締役の給与が23万円から30万円に、24万円から30万円に増額と聞くが、

**問** 大江観光株式会社について

**答** 一般競争入札か、プロポーザル方式が妥当であったが、結果的に指名登録は2社だけであり競争性に乏しいことから、見積りを徴収し随意契約とした。契約については違法ではないと思っている。

(市民人権環境・生活交通課)



経営改善の成果が期待されるあしぎぬ大雲の里 鬼力亭

市の見解は。

**答** 平成20年5月の株主総会で、総報酬限度額が提案、承認され増額となった。平成20年12月の臨時株主総会でそのこ

**問** 6割減資をされた昨年12月の臨時総会において、誰かが何らかの責任を取られたのか。

**答** 辞任ということ、責任を取られたと理解している。やくのふる里公社の教訓が生かされておらず、行政としても言うべき事は言うべきと思つたので、今後は経営内容のあり方についても、積極的に指導等を進める。

(総務・大江支所)

7 月臨時市議会常任委員会の審査報告

市民厚生委員会

当委員会に付託された議第19号「平成21年度福知山市一般会計補正予算(第4号)」について慎重に審査を行った。提案の内容は、雇用対策の各事業や子育て応援特別手当、上川口保育園建設事業、大江統合保育園通園バス整備事業等子育て支援や女性特有のガン検診推進事業、環境パーク消火設備機能強化事業、バス購入事業等、多岐にわたった。委員からは、女性相談サポート事業では相談専門員の採用条件を尋ねる質疑に対し、特に資格等の制限は設けず、相談に慣れた方を望むとの答弁であった。上川口保育園建設事業では、1億5千万円の根拠と、民営化との関係を問う質疑に対し、公設民営と位置づけられており、実施設計も完了しており、築後36年と老朽化も進み今回の有利な財源を活用したとの答弁であった。その他にも各委員から多くの質疑があり、それぞれ詳細な説明を受けた。以上の経過で審査を終え、採決の結果、議第19号は賛成多数で原案可決された。

総務委員会

当委員会に付託された議第19号「平成21年度福知山市一般会計補正予算(第4号)」についての審査を行った。まず、2千6百万円の補正予算債の償還についての質疑があり、補正予算債の充当率は100%で、後年度の元利償還については、普通交付税に100%算入されるとの答弁であった。次に、本市庁舎と市民会館の耐震診断調査後の整備方針を問う質疑に対し、診断結果により、安価で最良な工法による修繕や改築等を検討する。市の災害時の対策本部の中心的な施設となる為、一体的な施設改修が必要となるとの答弁であった。その他各委員から数多くの事業に対し質疑があり、それぞれ詳細な説明を受けた。以上の経過で審査を終え、採決の結果、議第19号は全員賛成で原案のとおり可決された。尚、いずれの事業も国の経済危機対策への迅速な対応に鑑み速やかに事業を実行に移し、速度を速めて対応することが必要であるとの意見の一致を見られた。

文教建設委員会

文教建設委員会に付託された議第19号「平成21年度福知山市一般会計補正予算(第4号)」について、慎重に審査を行った。三段池公園児童科学館内に設置予定のノーベル賞受賞村脩さんコーナー設置事業では、展示品等についての質疑があり、今後出身大学や実家などに出向いて借用や寄贈についてお願いし、展示は常設したい、との答弁であった。次に、小・中学校ICT環境整備事業について質疑があり、移動可能な50インチ以上のデジタルテレビを各校一台購入し、ディスプレイとしても電子黒板としても活用できるように考えている、との答弁であった。スクールアシスタント配置開始では、各中学校に1名配置する予定であり、中学校区内の小学校へも巡回する運用を考えている、との答弁であった。その他、修学旅行キャンセル料事業の質疑もあった。以上の内容で質疑を終結し、採決の結果、本議案は全員賛成で原案可決された。

経済委員会

当委員会に付託された議第19号「平成21年度福知山市一般会計補正予算(第4号)」と議第20号「平成21年度福知山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)」の2議案の審査を行った。まず、議第20号に関しては、近年のゲリラ豪雨で被害が出ている厚中地区に今回の公共下水道浸水対策事業等で築造する3つの地下貯留施設(地蔵ヶ端、仲ノ坪北、仲ノ坪)の貯留水量を問う質疑があり、合計で500立方メートル貯留でき、1時間に55ミリの降雨量に対応できるものである、との答弁があった。次に、議第19号では農地有効利用支援整備事業の地元負担金について質疑があり、詳細な答弁があった。さらに、間伐対策事業では間伐面積の内訳を問う質疑があり、旧福知山・旧3町域の間伐面積の答弁があった。小規模企業融資制度事業「マル福」では昨年度実績が149件、総額8億9222万円が対象となった。企業誘致促進及び支援基金事業では積立金の取り崩しが増え、当初1億円がスタートしたが平成21年度末の残高見込が700万円程度となり、補正が必要となった、との答弁があった。以上の経過で審査を終了し、採決の結果、2議案とも全員賛成で原案可決された。

議会日誌 6月・7月



- 1日 議会だより編集委員会
- 2日 議会運営委員会、各派幹事会、福知山市職員収賄事件調査特別委員会
- 3日 京都府市議会議長会
- 4日 由良川沿川市議会関係委員会正副委員長会
- 8日 経済委員協議会
- 9日 6月定例会市議会本会議、予算審査特別委員協議会、議会だより編集委員会、常任委員長会
- 16日 予算審査特別委員協議会
- 17日 6月定例会市議会本会議
- 18日 6月定例会市議会本会議
- 19日 6月定例会市議会本会議、各派幹事会
- 22日 総務・市民厚生・経済・文教建設委員会
- 23日 総務委員協議会、予算審査特別委員協議会
- 25日 予算審査特別委員協議会

- 1日 福知山市職員収賄事件調査特別委員会、由良川改修促進特別委員会、議会運営委員協議会
- 6日 議会運営委員会、各派幹事会
- 7日 福知山市職員収賄事件調査特別委員会、議会だより編集委員会
- 8日 宮城県美里町議会行政視察来市
- 13日 7月臨時市議会本会議、各派幹事会
- 14日 7月臨時市議会本会議、総務・市民厚生・経済・文教建設委員会
- 16日 7月臨時市議会本会議、全議員協議会、予算審査特別委員協議会、議会だより編集委員会
- 21日 全国市議会議長会基地協議会正副会長、監事、相談役会、理事会、議会だより編集委員会
- 23日 京都府北部五市議会連絡協議会
- 24日 広島県尾道市議会行政視察来市
- 29日 6月定例会市議会本会議、議会運営委員協議会、全議員協議会、各派幹事会、議会だより編集委員会、総務・市民厚生・文教建設委員協議会

編集後記

うつつとしい天気が続く中、6月定例会が終わりました。日本の梅雨の風景の一つ、アジサイの七変化が終わると、すぐそこには、暑い夏が待っています。私たち議員の4年という任期は、折り返し地点を通過し、6月定例会では17名の議員が登壇し、課題や問題の解決など、一般質問を行ないました。夢を大きくもち、妥協しないで未来のまっ白なキャンパスに絵を描く。下絵は具体化した



計画、着色していくのは、意見を出し合って実現していく私たち市民と議会、行政です。より良い福知山をつくるために、みんなで頑張っていきましょう。